

令和 6 年度

第 1 回

自己評価委員会報告書

於：令和 6 年 7 月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

自己評価委員会報告書

日時：令和6年 7月23日（火） 10:30～12:30

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者名：(学園) 嶋村理事長・百瀬副理事長・桐山事務局長

(学校) 小原校長・小口教務主任

【審議検討事項】

1. 令和6年度自己点検・自己評価について

令和6年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営の3項目・教育活動の4項目・学修成果の3項目・学生支援3項目・教育環境の1項目・学生募集と受け入れ2項目・社会貢献1項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

また、評価4から評価3に下がった理由についても説明を行った。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

今後の課題

- ① 学校管理システムの構築→10月校長主任会にて提案し具体化していく
- ② 国家試験学科対策の強化
- ③ 電子化の必要性（プロジェクター使用方法・タブレット等）

中項目の捉え方として、両校差があるが、各校の特色として自己評価へとつなげてほしい。

学校組織の在り方として、両校で意見を出し合い、箇条書きにして優先順位をつけて検討して欲しい。

今年度も引き続き、生徒募集に力を入れてほしい。

2. 令和6年度重点目標について、中間報告

中間報告として、現時点で令和6年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① 教職員の協力体制による指導力の向上

○クラス担任による指導を主としながらも、学年全体で個々の生徒に向き合えるように指導内容を共有していく。

○学年全体で新任教員の育成に関わりながら、自らも指導方法の改善に努める。

・1学期の振り返りとして、精神的な不安を持った生徒への対応が目立っていたが、保護者連絡等も密に行い、個別対応を実施した。

・各学年における情報共有により、クラス間の差異が少ない指導体制を築くことができた。

重点目標② 教師と講師との連携強化

○嘱託講師との連携を強化して、授業への取り組みを向上させていく。

○嘱託講師の授業内容、授業計画を把握して、自らも学ぶ姿勢で関わっていく。

・長野校との嘱託講師による打ち合わせ会を計画して、筆記試験対策の充実につなげる。

・1学期末の合同打ち合わせ会において、各学年で担当との講師打ち合わせ時間を新たに組み込むことで、情報共有の機会とした。

重点目標③ 教師と生徒との距離感を意識する

- 初めと終わりを意識して、本時の導入とまとめを明確にしていく。
- 個々の生徒に対して見落としの無い、平等な指示と評価を心掛ける。
 - ・各クラス担任は、学級運営を滞りなく行っている。
 - ・5月に生徒アンケートを実施して、個別の不满や問題点を可視化することができた。
 - ・器物の破損や休み時間に奇声をあげる生徒に対しても、保護者連絡も行いながら指導を続けている。
 - ・引き続き、身の周りの整理整頓からクラス全体、学年、学校全体へと整った学習環境の維持に努めていく。

今後、令和7年2月までに重点目標並びに課題についても、結果を出していきたい。
引き続き継続できるよう向上していき、学校教育の質を上げていってほしい。

3. 学校関係者評価委員会より報告

- ・令和5年度自己評価報告
- ・令和5年度重点目標の実施報告・課題の説明
 - ① アフターコロナを見据えた、新たな日常の構築
 - ② 生徒指導の充実
 - ③ 学生募集から就職指導の一貫指導
- ・令和6年度実施目標
 - ① 教職員の協力体制による指導力の向上
 - ② 教師と講師との連携強化
 - ③ 教師と生徒との距離感を意識する
- ・学校関係者評価委員より提言 各項目・重点目標について

以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告
学校関係者評価委員の報告が、第三者評価になっていくので、今後活かしていく。

4. 教育課程編成委員会より報告

- ・令和5年度自己評価報告
- ・令和5年度重点目標の振り返り
- ・令和6年度実施目標
- ・令和5年度 就職状況
- ・委員からの提案

以上が、教育課程編成委員会にて検討した事項の報告

5. 次回 第2回自己評価委員会 令和7年2月20日（木）10：30～（松本校）
令和6年度自己評価まとめ